

情報メディア学部 情報メディア学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像

情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに、映像、アニメ、3DCG、グラフィック、感性、ウェブ、ネットワークなど、新しい時代の中核となる技術をもとに、デザインとテクノロジーを融合したビジネスやデジタルコンテンツを創造し得る人材を育成します。学生が身につけるべき能力①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材。

②IT 社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・ICT（情報通信技術）を積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人材。
- ・ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人材。
- ・映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを処理できる人材。
- ・IoT（モノのインターネット）やゲームプログラムの開発に従事できる人材。
- ・ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人材。
- ・ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得した人材。

③国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・異文化を理解し、国際感覚に優れた人材。
- ・社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人材。

④コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材。
- ・高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人材。

⑤自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・ビジネス、デジタルコンテンツ等の発想力、企画力、計画力、実行力、評価力を備える人材。

⑥知識のみではなく生きるための知恵

- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

2. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（情報メディア学）」を授与します。